



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成23年度学校だより 第2号
2011年 5月27日

教育誌に書かれていた「^{ほうり}抱鯉の術」という言葉が目にとまりました。それは、『池の中で鯉を捕まえようと網を持って追いかけても、鯉は逃げ回って捕まえられない。名人は、まず水の中に入り、鯉の動きに合わせてゆっくりと歩くことから始める。次に、捕まえようとする鯉の泳ぐ方向と一緒に歩き、少しずつ近づき、やがて鯉の横に並び、片方の腕で自分の体の方にゆっくりと寄せ、抱え込むようにして歩く。もう片方の手で網を鯉の前に差し込む、すると鯉はおとなしく、素直に網に入る』という意味だそうです。著者は、子育てや教育は、まさにこの「抱鯉の術」と同じであると言っていました。

読みながら共感し、私たちの教育現場と重ね合わせて考えました。子どもたちとの信頼関係を築くためには、同じ目線で物事を考え、共に創り上げよう、共に努力しようとする姿勢で向き合うことが大切でしょう。危険な行為をした時、またしようとした時など、時と場合によっては、指示・命令的な言葉をかけることもありますが、普段は、極力子どもたちの心に歩み寄り、抱え込むような子育て・教育を進めていきたいものだと思います。もちろん、そのようなことは十分に分かっている方がほとんどであると信じています。しかし、分かっているてもできない時があることも多いような気がします。

<その要因として考えられるもの>

- 1 仕事や日々の生活に追われ、子育てについて考える心のゆとりがない。
- 2 子どもたちと語り合う（寄り添う）時間がない、とれない。
 - ・学校から帰ってきても、学習塾や習い事で忙しい。
 - ・夜、塾や習い事から帰ってきても、学校の宿題が待っている。
 - ・子どもに時間的な余裕ができた時は、テレビやゲームに熱中している。他



私たち教育現場も含め、言い訳はいっぱいあるでしょうが、「抱鯉の術」を理解し、名人のようなかわり方ができる教師や親を目指したいものです。

廃品回収へのご協力ありがとうございました



5月15日（日）の午前中、廃品回収を実施しました。当日は、好天であったことや6年生を中心とした子どもたちも多数協力してくれたことなどから、とても爽やかな気持ちで作業ができました。

また、学校への侵入道路が狭いことで大型トラックや運搬用の機材が運動場に入れず、積み込みがすべて手作業になりました。その関係で、作業時間が延びたり大変な労力が必要となったりしましたが、汗を一杯かきながら協力し合っただけの作業となりました。その光景から、「チーム観東」という合言葉は、教職員だけでなく保護者や地域の方々も含めた言葉であることを改めて実感できました。

心を込めて開いた新入生歓迎会



5月2日（月）、琴弾公園への春の遠足を兼ねて、「新入生歓迎会」を実施しました。6年生と一緒に歩いた公園への道のりは、1年生にとっては少し長かったため心配な面もありましたが、生き生きと楽しそうに歩く姿を見て安心しました。

児童会が企画・運営した歓迎会は、1年生と上級生とのふれあいを目的としたゲームが中心で、それぞれ色別チームによる対抗戦を行いました。わずか1時間30分ほどの短い時間ではありましたが、笑顔が一杯、温かい心を伝え合えた楽しい時間となりました。

心に残った修学旅行



5月10日（火）、11日（水）の二日間、6年生が待ちに待っていた京阪神への修学旅行に行ってきました。主な見学地は、大阪城、奈良公園（大仏殿、二月堂）、清水寺、金閣寺、太秦映画村、北淡町震災記念公園でした。二日目は、一日中雨が降り、残念ながら傘をさしての見学になりましたが、二日間共にバス酔いする児童もなく、全員大変元気で予定通りの旅行ができました。

この旅行が、小学校時代の大切な思い出の一つとして、いつまでも心に残る貴重な体験になったことと信じています。